真実の声の発信者が明らかになる!

**真実の声を利用した
組織破壊を許さない!**

2018年11月1日、中央本部は「新生JR東労組運動と12地本の団結を破壊する『真実の声』を許さない中央本部見解」を発売しました。

「真実の声」に掲載された内容は、不特定多数が閲覧できるインターネットにおいて、組織内部でしか知り得ない情報を元に一部を切り取り捏造し、匿名で掲載しています。

見解の中で「真実の声」は、組織を強化・拡大するために、12地本が団結し、信頼を回復しようとする新生JR東労組運動を破壊する以外の何物でもないこと。そして、個人を特定しての誹謗中傷は犯罪行為であることを明らかにしました。

東京地本も見解を発売し「この『真実の声』は、組織を強化・拡大するために、12地本が団結し、信頼を回復しようとするJR東労組運動

の破壊が目的だと言われている。同時に、個人を特定しての誹謗中傷は許されるものではない。東京地方本部執行委員会は、我々が一切関知しない『真実の声』を組織破壊と考

え、携わる者の行為は断じて許さないことを明らかにする」と明確にしています。また、12地本の団結をつくり出すために、各地本からも見解を発売しました。

しかし、残念ではありますが、真実の声の発信者が東京地本の特別執行委員ならびに中央執行部員の畠山浩信君であることが発覚しました。中央本部は、指令7号、8号を出しましたが、東京地本が指令7号の履行を行わない事態となったので、指令9号を発売しました。その結果、東京地本は畠山浩信君の地本特別執行委員の任を解除しました。

新生JR東労組運動と12地本の団結を破壊する「真実の声」を許さない中央本部見解

JR総連・JR東労組の大会で組織破壊と確認された「JR東労組を憂う会」結成主旨の抜粋を掲載し、2018年6月10日「真実の声」がインターネット上にアップされた。

「真実の声」では、投稿者が匿名であることをいいことに、数々の嘘を述べ、中央本部を「残留執行部」と罵り、新生JR東労組運動を推進する中央本部や地方本部に対し嘘で塗り固めた批判を投げつけている。

この「真実の声」は、組織を強化・拡大するために、12地本が団結し、信頼を回復しようとする新生JR東労組運動を破壊する以外の何物でもない。さらに言えば、個人を特定しての誹謗中傷はもはや犯罪行為である。中央執行委員会はこの「真実の声」を「JR東労組を憂う会」と同質であり、組織破壊と断定した。この「真実の声」に悪意を持って携わる者たちを断じて許さない決意である。

「真実の声」に掲載された内容は、不特定多数が閲覧できるインターネットにおいて、組織内部でしか知り得ない情報を元に一部を切り取り捏造し、匿名で掲載している。特に、水戸地方本部や東京地方本部の役員と中央本部役員との電話等のやりとりが、事実を捻じ曲げて掲載されていることは看過できるものではない。この行為は組織破壊を目論む者たちに悼さずものであり、中央本部と地方本部の間に不信感をもたらす組織破壊である。

よって中央本部は、この「真実の声」の投稿者並びに情報提供者に対して、規約第60条(制裁)に該当し制裁申請に値することを明確にしておく。

また、「真実の声」は元中央執行委員から八王子地方本部経由で他地方本部のメールクラブに拡散依頼がされているという事実がJR東労組第36回定期大会の中で発覚され、調査することを組織決定した。中央本部は、6月から今日に至るまで八王子地方本部に調査を依頼し、幾度となく報告を求めたが、「連絡が取れない」と一切調査の進展がないことも記しておく。

新生JR東労組運動を推進し、12地本の団結をつくり出す為、中央本部は機関決定として全地方本部がこの組織破壊行為に対し見解を発売することを指令する。

中央本部は、あらゆる組織破壊を許さず、全組合員と共に12地本の団結をもって、新生JR東労組運動をつくり出す決意である。

2018年 11月1日
東日本旅客鉄道労働組合
臨時第9回中央執行委員会

～第3回中央執行委員会(2019.8.22)決定事項について～

第3回中央執行委員会で議論し、決定したことについて、指令7号を発売しています。

中央本部は「真実の声」を組織破壊と断定し『新生JR東労組運動と12地本の団結を破壊する「真実の声」を許さない本部見解』を発売してきました。同時に、指令20号を発売し、全12地本が組織破壊と確認された「真実の声」に対して見解を明らかにしてきました。

これまで「真実の声」は、投稿者が匿名であることをいいことに、多くの組合員が誹謗中傷を受ける中、山口中央執行委員長も人身攻撃を受け、個人訴訟を行ったところ「真実の声」の発信者は、中央執行部員の指定を受け、東京地方本部に派遣され、特別執行委員として企画部次長に就いている畠山浩信君であったことがわかりました。

畠山浩信君が全12地本で組織破壊と確認した「真実の声」に加担していたことは、組織破壊以外のなにものでもありません。しかも、畠山浩

信君はJR東労組に雇用されていたながら、JR東労組の名誉を著しく汚し、社会的信用を失墜させ、機関役員として団結または統制を乱しました。

中央執行委員会は、畠山浩信君を組織破壊者と断定し、中央執行部員の解除を満場一致で確認しました。東京地方本部にも、畠山浩信君の特別執行委員の指定の解除を行うことを指令します。

畠山浩信君が行った行為は、犯罪行為であり、中央本部はこの犯罪行為を許すわけにはいきません。中央執行委員会は、畠山浩信君に直ちに「真実の声」を閉鎖することを求めます。

中央執行委員会は、畠山浩信君に対し、雇用と勤務に関する規則第25条2項(懲戒の種類)「前項による懲戒手続進行中においては、その決定まで出勤停止を命ずることができる。」を適用し、2019年8月23日から懲戒処分決定まで出勤停止を命ずることを確認しました。

指令7号 (2019.8.22)

1. 畠山浩信君の中央執行部員を解除する。
2. 東京地方本部に畠山浩信君の地本特別執行委員の任を解除することを求める。
3. 畠山浩信君に「真実の声」の閉鎖を求める。
4. 中央本部は畠山浩信君に対し、雇用と勤務に関する規則第25条2項に基づき、2019年8月23日から懲戒処分の決定まで出勤停止を命ずる。
5. 12地方本部は指令の内容を全組合員へ周知し、組織破壊を許さない体制を構築すること。

指令8号 (2019.8.26)

1. 畠山浩信君が中心的に使用していた組合所有のパソコンは、「真実の声」への関与などの事実解明の調査のため、中央本部の調査終了まで借用する。なお、東京地本において業務に必要な場合、本部所有のパソコンを貸与するので、その場合は連絡されたい。
2. 12地方本部においては、組織破壊である「真実の声」の実態解明に関して、中央本部が行う調査等に全面的に協力すること。また、中央本部が行うこの調査に関する恣意的な情報操作による組織混乱がないようにされたい。

指令9号 (2019.9.4)

1. 東京地方本部は直ちに、指令7号を履行し、畠山浩信君の地本特別執行委員の任を解除すること。なお、2019年9月5日18時までに中央本部に報告すること。